47 構造

主な建物（最も延べ床面積の大きな建物）の構造について、当てはまる番号を一つ回答欄に記入してください。

複数の構造が混在している場合（建物が増改築されている場合を含む）は、面積の最も大きい構造を回答欄に記入してください。

1 木造
2 鉄骨鉄筋コンクリート造
3 鉄筋コンクリート造
4 鉄骨造
5 コンクリートブロック造
6 その他：石造、れんが造、無筋コンクリート造、無筋コンクリートブロック造、その他、他の分類に該当しない構造のもの。

48 建築時期

建物の建築時期を回答欄に記入してください。

主な建物（最も延べ床面積の大きな建物）が完成した年次を一つ選んで、記入してください。

主な建物が増改築されている場合は、増改築した部分としていない部分のどちらか面積の大きい方の年次を一つ選んで、当てはまる番号を記入してください。

1 昭和25年以前
2 昭和26～35年
3 昭和36～45年
4 昭和46～55年
5 昭和56～60年
6 昭和61～平成2年
7 平成3～7年
8 平成8～12年
9 平成13～17年
10 平成18年
11 平成19年
12 平成20年
13 平成21年
14 平成22年
15 平成23年
16 平成24年

1～4の場合、新耐震基準を満たしているか、いないかについて、当てはまる番号を記入してください。

1 新耐震基準を満たしている
2 新耐震基準を満たしていない
3 未確認

49 信託受益権か否か

建物の所有は、信託受益権によるものか否かについて、当てはまる番号を一つ回答欄に記入してください。

1 信託受益権
2 信託受益権ではない（通常の所有権）

50 建物の有形固定資産額

工場敷地ごとに、所有するすべての建物の有形固定資産の帳簿価格、減価償却額、減価償却累計額を「50-① 工場別有形固定資産額（建物）」に100万円単位で回答欄に記入してください。

ただし、工場敷地単位で有形固定資産の把握が不可能な場合は、所有するすべての建物の有形固定資産の合計を「50-② 法人所有総有形固定資産額（建物）」に100万円単位で回答欄に記入してください。

50-②法人所有総有形固定資産額（建物）

	億						百万円
帳簿価格							
減価償却額							
減価償却累計額							

50-①工場別有形固定資産額（建物）

チェック欄↓

	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か		億	百万円		チェック欄
1	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
2	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
3	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
4	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
5	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
6	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	
7	構造	その他（　）	建築時期	1～4の場合→	新耐震基準	信託受益権か否か	帳簿価格			百万円	□
							減価償却額			百万円	
							減価償却累計額			百万円	

Ⅴ－（4）はこれで終わりです。次へお進みください。